

(写)

資料1

2 千 政 ス 第 1 4 号  
令和 2 年 1 2 月 2 3 日

千葉市新基本計画審議会

会長 轟 朝幸 様

千葉市長 熊谷 俊人

スマートシティ推進ビジョンについて（諮問）

このことについて、千葉市新基本計画審議会設置条例（平成  
22年千葉市条例第28号）第2条の規定に基づき、貴会に諮  
問します。

## (写)

### 諮問理由

本市は、古くは縄文時代から人々が暮らしていたように居住に適した恵まれた気候・地形に立地し、連綿と歴史を紡ぐ中で、高度経済成長期の急激な人口流入を経て、98万人市民が暮らす現在にいたるまで人口が増加してきましたが、本年をピークとして今後人口減少局面が始まるものと想定しております。

本市が初めて直面する人口減少は、同時に進展する少子高齢化の影響も相まって、社会を支える労働力人口の減少をもたらし、これまでと同じような市政運営では、市民生活の向上や地域経済の活性化を図るうえで、支障が生じるものと認識しております。

このような状況を回避し、人口減少下において都市が持続的に発展する手法の1つとして、また、被害の甚大化が進む自然災害の発生や、新型コロナウイルスをはじめとする感染症の感染拡大など、非常事態下において市民の生活を守る手段として、近年加速度的な発展を見せるテクノロジー等を活用したスマートシティの実現に向けて取り組むことが自治体のみならず社会全体に求められています。

本市では、これまでも「市民に時間を返す」また「市民全員参加のまちづくり」の観点から、テクノロジー等を活用した独自の施策を進めてきたところですが、「持続可能な地域社会と良質な市民生活の創出」に向けたスマートシティ推進の観点から、テクノロジーの状況・国の動向・本市の特性等を踏まえて取組みの方向性を検討する必要があります。

以上のことから、スマートシティ推進ビジョンについてご審議いただきたく、諮問します。